

目次

- 会長挨拶
- シャンプーボランティア体験記
- 動物愛護関係講習会
- コラム「わんちゃんは鏡？」
- ボランティアについて

■ 会長挨拶

DMSO 会長 平澤 敦司

DMSO 会員の皆様こんにちは、当会も平成9年10月に「動物を適正に飼養管理することにより、人と動物の共存する豊かな環境をつくるとともに、人と動物の絆を尊重し、動物の適正な飼育管理の知識・技術の収録と広く動物愛護思想の普を図ること」を目的に発足し25年の長きにわたり活動を行ってきました。それも一會に皆様のご協力を賜ったおかげと深く感謝しお礼申し上げます。

DMSO 活動内容として、動物愛護関係講習会、会員限定の交流会や動物愛護フェスティバルでの適正飼養の啓発などイベントの協力、センターでの子犬のシャンプーボランティアや子犬譲渡会のお手伝い、パピートレーニングのお手伝いなどをお願いしていますが、新型コロナウイルスの影響で人の集まるイベント等が出来ない中、今年度は10月23日にDMSO 交流会で増淵先生をお招きし「愛犬とヨガ」を開催し12組17名の会員に参加していただきました。我が家でもわんぱく坊主の和音と参加し、久しぶりに多くの会員さんとお会いでき終始ニコニコ顔で楽しいひと時を過ごすことができました。

動物愛護関係講習会は、今年度もコロナの影響で1回のみで開催になりましたが、令和5(2023)年2月12日にちよう動物病院の院長、長先生をお招きし「獣医師が教える動物病院利用のコツ」につい

てレクチャーして頂きました。

普段から愛犬・愛猫の食事の量やトイレの量・回数、行動を良く観察し何か異変・異常を感じたら病院に連れていき、先生に診察してもらい病気やケガを早く見つけ治療してもらい一緒に楽しく暮らせるようにしましょう。

これからも何かと制限されてしまうと思いますが、飼い主さんと可愛いペット達と楽しく充実した生活が送れる様サポートしていきますので何卒宜しくお願いします。

また、動物愛護指導センターで行っているボランティア活動(子犬のシャンプー・子犬譲渡会のお手伝い・パピートレーニングのお手伝い・ミルクボランティアなど)に興味があり参加してみたい方は、ぜひDMSO事務局までご連絡下さい。



DMSO 交流会にて
会長とニコニコ顔の
和音くん

■ シャンプーボランティア体験記

DMSO 監事 福田 賞子

先日、今年度最後のシャンプーボランティアが無事に終わりました。今回は、白、茶、黒の1姫2太郎の3頭のフワフワの仔犬達でした。毎回、今日はどんな子達が待っていてくれるかな?!と楽しみにボランティアに参加させて頂いてきました。シャンプー中、何をされるんだろうとぶるぶる震えている子が多いですが、ドライヤーでフワフワに仕上がるとオヤツも食べられる元気のいい子もいます。そし

て毎回思うのは、どんな名前をつけてもらえるかな?! どんな家庭に貰われて行くのかな?! そして、必ず幸せになって欲しい、ということを願って止みません。

私が、このシャンプーボランティアを始めるきっかけになったのは、今から5年前にセンターから大和を譲渡して頂いたからです。その頃の譲渡会は、大勢の人が集まり、自分が希望する仔犬を申請して希望が多いときは、ジャンケンで決めるという方法をとっていました。私が希望した子は5人も希望者がいた一番人気の子で、これはゲットするのは難しいなと思っていたのですが、ラッキーなことに私は一発勝負で勝つことができたのです。あの時の感激は、一生忘れられません!! そして、この喜びを何かの形にしてお返しをしたいと思い、譲渡して頂いたその場でDMSOに迷わず入会することを決めました。

大和が我が家に来てくれて、毎日が楽しくて楽しくてあっという間に時間が過ぎて行くようです。早朝のお散歩に始まり、夕方のお散歩に終わる毎日です。仕事で疲れていても、嫌なこ



大和くん

とがあっても、大和とお散歩しているうちに全てクリアされます。大和はとても人懐っこい子で、お散歩に行くといろんな人に可愛がって貰えます。犬よりも人に関心があるようです。なので、犬友達もたくさんできました。大和がいなければ繋がれなかった方とのご縁がたくさんあります。ただ車が苦手なのが残念です。シャンプーに連れて行く時は渋々車に乗ってくれますが、いつも乗車拒否をされます。そこもまた、可愛いところなのですが。大和の存在は、今の私の元気の源です。「私の所に来てくれてありがとう。」出逢えたことに感謝です。毎回、センターでのシャンプーボランティアをして帰宅すると、大和は私のおいをチェックします。「今日は、大和の後輩達を綺麗にしてきたんだよ。」と言うと、クンクンしながら、「まあいいか」という感じでじゃれてくれます。なので、これからも続けてシャンプーボランティアに喜んで参加させて頂きたいと思っています

す。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 動物愛護関係講習会



期日：令和5(2023)年2月12日(日)

講師：長 哲 先生(ちょう動物病院 院長)

テーマ：「獣医師が教える動物病院利用のコツ」

令和4年度の動物愛護関係講習会は長 哲先生をお招きして「獣医師が教える動物病院利用のコツ」をテーマに行いました。今回は3年ぶりの開催で23名の方に参加していただきました。

講義の中で特に印象に残ったことが、病院で動物の症状を伝える際に大切な「飼い主の5W1H」です。5W1Hと言えば、みなさんご存じの、

- When：いつ
- Where：どこで
- Who：だれが
- What：何を
- Why：なぜ
- How：どのように

です。では、動物の症状に当てはめて考えてみましょう。例えば、嘔吐をしている時は…

- When：食前?食後?
- Where：どこで
- Who：だれが
- What：胃液?毛玉?食べたごはん?
- How：1日に複数回?連日1回?

この内容を正確に獣医師に伝えることができれば、診断の大きな判断材料となります。ぜひ動物病院に行く際は、「飼い主の5W1H」を意識してみてください!



講習会風景
みなさんメモを取りながら真剣に先生の講話を聞いていました。

講習会に参加した DMSO 会員の方にも感想を
うかがってみました。

DMSO 会員 山口 凛々子

動物愛護指導センターから子犬を譲渡して頂い
て 1 年ほど経ちました。どんどん大きく成長し嬉
しく思っています。

今回 2 月 12 日曜日に開催された動物愛護関
係講習会「獣医師が教える動物病院利用のコツ」に
参加させて頂きました。私は犬を飼うのは初めてで
症状を上手に伝えられない、病院に行くまでに準備
しておくことが分からないと悩むことがありまし
た。そのためこの講習に参加しました。

今回教えて頂いたのは、病院に症状を端的に伝え
る方法や起こりやすい病気、病院に行くまでにする
ことなどです。病院への症状の伝え方は犬種や、性
別、年齢と 5W1H を使うとよいと教わりました。
焦ってしまうと必要では無い情報を伝えたり逆に
必要な情報を伝えきれなかったりすることもある
ので冷静に対応したいと思います。病院に行くまで
にすることは症状の写真や動画を撮る、便や尿など
を採取することです。例えば下痢の場合いつから症
状があるか、トイレで排泄できるか(我慢できずに
トイレ以外の場所でしてしまわないか)、色、回数、
環境やご飯の変化を病院に伝え直近の便を袋で持
っていく又は回収不可能の場合(下痢や時間が経っ
たもの、トイレシートの上でしたもの)は写真を撮
ることになります。尿を採取する場合はトイレシ
ートを裏返してトイレさせスポイトに入れて持って
いくと教えて頂きました。

センターで譲渡された犬や猫の中には臆病な子
もいると思います。我が家の犬もとても臆病で、震
えや目の充血がよく起こります。そのような子は病
院に行くこと自体がストレスになってしまいます。
そこで、そうした場合には、クレートやエリザベス
カラー、診察台に少しずつ慣らしていくのがよいと
おっしゃっていました。また病院に行くまでのルー
トを散歩道にしたり、おやつを持っていったりする
のも効果的だそうです。

今回の講習で知らなかった病名を知るきっかけ
になり、症状に対しての対応を学ぶことが出来ま

した。犬や猫は人間より何倍も早く歳を重ねてい
ます。今は元気でも急に体調が悪くなってしまう
可能性もあります。その際は伝えるべき情報を端
的に伝えられるようにしたいです。あの時ああす
れば良かったとならないように日頃からよく観察
をして少しでも変化があったら病院に行こうと思
います。健康で長生きしてもらいたいです。



山口さんの愛犬
ハーディーくん
すっかり大き
くなりました！

----- DMSO 事務局 -----

■ わんちゃんは鏡？



わんちゃんは、鏡？ いや 作品？

2010 年から始まったスマホの急速な普及によ
り、「ググる」というスラングもあるように、寝転
がりながら知りたい情報を探せるようになりました。
スマホは時刻関係なしの情報のワンダーランド、
スマホの中はバーチャルな情報図書館です。しかし
ながら、その情報の精度は疑いを持つ必要があり、
真から嘘までまぜこぜで、真偽を想像しながら読む
のも楽しいですし、情報発信側に手軽になれると言
うことでも、時代は変わったと感じます。情報を利用
するのも、発信するのも自己責任の時代です。犬
猫の情報も莫大に発信されていますし、勉強になる
有益な情報も多いです。センターの事前講習会の申
込みもスマホからお願いしています。

一方、図書館で書籍からの情報探しも面白いです。
図書館に出向いて、犬猫ペットコーナーを見渡すと、
品種の特徴、飼い方、しつけや病気の本がびっくり
するくらい揃っています。どこの図書館に行っても
充実しています。それだけ、ペットに興味を持ち、
悩みもち、情報収集や解決策を探している方が多
いのだと思います。情報を収集するほどその取舍選
択に迷うことも多いですが、現実にはペットを飼っ
ておられる方は、リアルにやってみてのトライアルが
できるので、真偽を検証できます。学んだことをや
ってみる楽しみは倍増ですね。悩みが解消できた時

のすっきり感は最高でしょう。

センター職員も、職務上で犬猫の世話や、電話相談も受けますので、ネットや書籍を借りて調べて役立てることもあります。訓練では、YouTubeでも訓練動画で勉強しています。センターで推進する「叱らず褒めて教える」トレーニング動画もたくさんあります。

犬猫の知の探索をしている時に、ある書籍に、「犬は信頼する存在の行為を模倣したがる生き物である。したがって、服従訓練で飼い主が信頼されれば飼い主の行動は犬の模範になり得る」とありました。飼い主がフレンドリーな性格ですと犬もそうなり、飼い主が威圧的な怖い人ですと犬もそうなり、飼い主が他人に警戒心を持つ人ですと犬もそうなり、他人に攻撃性のある犬も飼い主の態度を見習いおとなしくなり、犬は飼い主のことをよく観察して真似ているのだと。これは、わんちゃんは飼い主の作品、鏡ともいえます。その真偽のほど、こっそり教えてください。

■ DMSO ボランティア事業について

DMSOでは、会員の方を対象にボランティア事業を行っています。令和4(2022)年度からはボランティア希望者の登録を開始しました。ボランティアに参加してみたい、興味があるけど、まずは見学してみたいという方、お気軽にDMSO事務局(センター 普及指導課)にお電話ください！

ー センターで募集しているボランティア ー

- ・子犬のシャンプー
- ・譲渡会
- ・パピートレーニング
- ・ミルクボランティア

令和4(2022)年度ボランティア事業活動実績

(令和5年2月末現在、括弧内参加延べ人数)

- ・子犬譲渡会 : 11回(28名)
- ・子犬のシャンプー : 11回(64名)
- ・パピートレーニング1 : 11回(54名)
- ・パピートレーニング2 : 3回(15名)
- ・ドッグクラス : 1回(6名)

令和5(2023)年度

DMSO シャンプーボランティア日程



4月7日(金)	5月7日(日)
6月2日(金)	7月2日(日)
8月4日(金)	9月1日(金)
10月6日(金)	11月3日(祝・金)
12月3日(日)	1月5日(金)
2月4日(日)	3月1日(金)

ボランティア風景



きれいになりました！！

初めてのドライヤー
にドキドキ...



■ センターの日常を配信しています

二次元コードから動物愛護指導センターのTwitterのページに行くことができます！子犬・子猫の様子やセンターの日常を配信しています。ぜひご覧ください！



皆様からのフォロー、いいね、リツイートをお待ちしています。



発行日：令和5(2023)年3月
発行者：譲渡犬等飼い主の集いの会(DMSO)
会長 平澤 敦司
事務局：栃木県動物愛護指導センター内
〒321-0166 宇都宮市今宮 4-7-8
電話：028-684-5458 Fax：028-684-5926

